

1996年石川・福井・岐阜の県境の 三ノ峰で観察されたイワヒバリ*

大迫義人¹・中井信介²

イワヒバリ *Prunella collaris*は、ヨーロッパから極東の高山帯に分布し(清棲 1978)、日本では、北は岩手県から南は山梨県までで繁殖している(環境庁 1981)。その繁殖分布の西に位置する石川県と岐阜県の県境部では、主に白山(2,702m)、別山(2,399m)での繁殖が確認されているが、福井県も含めた県境にある三ノ峰(2,128m)周辺での記録は少ない(上馬 1983, 岐阜県 1983)。今回、幼鳥も含めた2羽の本種を観察したので報告する。

1996年8月6日、石川県、福井県および岐阜県の県境に位置する三ノ峰の避難小屋から東へ約50mいった雪渓(36° 05' N, 136° 45' 30" E, 標高2,090m)で計2羽が観察された。ともにカヤクグリ *P. rubida*より大きく、1羽は頭部から胸は灰色、腹から下腹部は茶褐色で翼には2本の白帯があり、もう1羽は、全体が灰色で腹から下腹部はこげ茶色がかっていたことより、それぞれイワヒバリの成鳥と幼鳥と同定された(清棲 1978, 高野 1992)。2羽は1m以内の範囲で連れ添い、一緒に雪渓で採食していた。その間、幼鳥への給餌も攻撃も観察されなかったが、親子の可能性があった。

高山帯のほとんどない福井県では、1982年まで本種の生息確認はなく(福井県 1982)、1989年に大野市南六呂師で冬鳥として記録されているだけである(日本野鳥の会福井県支部 1995)。今回記録された場所は、行政管轄上は岐阜県荘川村に含まれるが、約50mで福井県に至るため、本県での生息も十分考えられる。また、より西に位置する、岐阜県との県境の能郷白山(1,617m)でも繁殖の可能性があり(環境庁 1981)、本県における本種の生息状況についてさらに情報の収集が必要である。

引用文献

- 福井県. 1982. 福井県の鳥獣. 240pp. 福井県.
岐阜県. 1983. 岐阜県の野鳥. p9. 岐阜県.
環境庁(編). 1981. 日本産鳥類の繁殖分布. pp282-283. 大蔵省印刷局, 東京.
清棲幸保. 1978. 増補改訂版 日本鳥類大図鑑 . pp.135-138. 講談社, 東京.
日本野鳥の会福井県支部. 1995. 1994年までの福井県産鳥類目録. つぐみ(100):28-39.

* 福井県自然保護センター研究業績 第46号

1. 福井県自然保護センター. 〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2
2. 〒911 福井県勝山市栄町1-2-22

高野伸二. 1992. フィールドガイド 日本の野鳥 増補版. pp.108-109. 日本野鳥の会, 東京
上馬康生. 1993. 高山の鳥 イワヒバリ. 白山の人と自然 動物篇. pp.118-121. 石川県白山
自然保護センター, 石川.

A record of the Alpine Accentor on Mt. Sannomine
on the frontier of Ishikawa, Fukui and Gifu Prefectures, 1996

Yoshito Ohsako¹ and Shinsuke Nakai²

Two birds of the the Alpine Accentor *Prunella collaris* were observed on Mt.
Sannomine on the frontier of Ishikawa, Fukui and Gifu Prefectures, on 6 August,
1996.

1. Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono-shi,
Fukui 912-01
2. Sakae-machi 1-2-22, Katsuyama-shi, Fukui 911